

2018

〔共同研究〕

# 中世の技術と職人に関する 総合的研究

村木二郎 編

共同研究の経過と概要 村木二郎

中世初頭の東国の  
京都系かわらけにみる  
技術の導入と変容 池谷初恵

中世漆器の  
技術転換と社会の動向 四柳嘉章

中世京都七条町・  
八条院町界限における生産活動 村木二郎

挽き臼類の展開にみる中世 佐々木健策

中・近世移行期の施錠具と真鍮生産にみる外来技術導入をめぐる諸問題 坪根伸也

津久井城出土金粒かわらけと小田原城出土金箔かわらけ等の主成分分析結果 齋藤 努

現役石材採掘職人が見た大坂城石垣石切丁場跡 松田睦彦

『名語記』の著者経尊とその周辺 福島金治

十五世紀生産革命論再論 中島圭一

中世日本における外来技術伝来の諸条件 関 周一

〔研究ノート〕

大航海時代とモノづくり日本 川口洋平

官制からみた銭貨鑄造官司の変遷について 仁藤敦史



# 国立歴史民俗博物館 研究報告

第210集  
平成30年3月

Bulletin of  
the National Museum  
of Japanese History

Collaborative Research:  
General Study on Technology and Craftsmen  
in Medieval Times

Edited by MURAKI Jiro

**国立歴史民俗博物館  
研究報告  
第210集**

【共同研究】  
**中世の技術と職人に関する  
総合的研究**

村木二郎 編

March 2018

平成30年3月

国立歴史民俗博物館研究報告 第210集  
[共同研究]中世の技術と職人に関する総合的研究

目 次

共同研究の経過と概要	村木二郎	1
中世初頭の東国の京都系かわらけ にみる技術の導入と変容	池谷初恵	9
中世漆器の技術転換と社会の動向	四柳嘉章	29
中世京都七条町・八条院町界限 における生産活動 銅細工を中心に	村木二郎	49
挽き臼類の展開にみる中世	佐々木健策	85
中・近世移行期の施錠具と真鍮生産 にみる外来技術導入をめぐる諸問題	坪根伸也	123
津久井城出土金粒かわらけと小田原城出土 金箔かわらけ等の主成分分析結果	齋藤 努	153
現役石材採掘職人が見た 大坂城石垣石切丁場跡 民俗学的手法による近世の花崗岩採掘技術復元への接近	松田陸彦	171
『名語記』の著者経尊とその周辺 鎌倉中期の公武交流と西国の交通・流通	福島金治	203
十五世紀生産革命論再論	中島圭一	223
中世日本における外来技術伝来の諸条件 海上交通との関連から	関 周一	237
[研究ノート]		
大航海時代とモノづくり日本 技術と材料,そして貿易	川口洋平	187
官制からみた錢貨鑄造官司の変遷について	仁藤敦史	261

Contents:

MURAKI Jiro	Overview and Progress of the Collaborative Research .....	1
IKEYA Hatsue	Introduction and Transformation of Advanced Technology : A Case Study of Unglazed Kyoto-style Earthenware Produced in Eastern Japan at the Beginning of the Medieval Period .....	9
YOTSUYANAGI Kasho	Transition of Lacquering Techniques and Social Dynamics in Medieval Japan .....	29
MURAKI Jiro	Production Activities in Shichijō-machi and Hachijōin-chō in Medieval Kyoto : Focusing on Copperwork .....	49
SASAKI Kensaku	A Study of Medieval Japan Seen in the Context of the Development of Hand Mills .....	85
TSUBONE Shinya	Issues Related to the Introduction of Foreign Technology in Lock Manufacturing and Brass Production during the Transition from the Medieval to the Early Modern Period .....	123
SAITO Tsutomu	A Major Elemental Analysis of Gold-dotted Biscuit Ware from the Tsukui Castle Site and Gold-leafed Biscuit Ware, etc. from the Odawara Castle Site .....	153
MATSUDA Mutsuhiko	A Study of Quarrying Site for the Stone Walls of Ōsaka Castle from the Perspective of a Practicing Stonemason : An Ethnographic Approach to Unravel Early Modern Granite Quarrying Techniques .....	171
FUKUSHIMA Kaneharu	Kyōson, the Author of <i>Myōgoki</i> , and His Personal Relations : Interaction between Court Nobles and Samurai and the Transport and Logistics in Western Provinces in the Mid-Kamakura Period .....	203

NAKAJIMA Keiichi	A Review of the Theory of Production Revolution in the Fifteenth Century .....	223
SEKI Shuichi	Background Factors for the Introduction of Foreign Technology in Medieval Japan : Impact of Marine Transport .....	237
Research Notes		
KAWAGUCHI Yohei	Manufacturing in Japan in the Age of Discovery : Technology, Materials, and Trade .....	187
NITO Atsushi	About the Change of the Coins Casting Government Office Judging from Government Organization .....	261

## 『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

### 1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』（以下「研究報告」という。）は、国立歴史民俗博物館（以下「本館」という。）の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」（以下「論文等」という。）を發表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
  - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
  - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
  - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
  - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

### 2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
  - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
  - 二 本館運営会議委員
  - 三 本館の共同研究員等
  - 四 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者（リサーチアシスタントを含む）
  - 五 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の發表を希望する者で、指導教員が推薦した者
  - 六 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
  - 七 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
  - 八 その他、研究報告編集委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
  - 一 本館の共同研究員等
  - 二 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

### 3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未發表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁（写真、図版、表及び論文要旨等を含む）以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。
- 3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁（写真、図版、表及び論文要旨等を含む）以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。
- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。

3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

#### 4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

#### 5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみの場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

#### 6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先  
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地  
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

#### 附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

**〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕**

**館外委員** (五十音順)

伊藤 紫織 尚美学園大学芸術情報学部  
田中 裕 茨城大学人文社会科学部  
本郷 恵子 東京大学史料編纂所  
和田 健 千葉大学国際教養学部・大学院人文公共学府

**館内委員**

工藤雄一郎 研究部考古研究系  
小池 淳一 研究部民俗研究系 (編集委員長)  
後藤 真 研究部  
樋浦 郷子 研究部  
関沢まゆみ 研究部民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第210集  
〔共同研究〕中世の技術と職人に関する総合的研究  
村木二郎 編

●  
平成30年(2018) 3月30日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●  
大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構

**国立歴史民俗博物館**

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●  
**河北印刷株式会社**

〒601-8461 京都府京都市南区唐橋門脇町28 ☎075-691-5121 (代)

〔装丁〕 中山銀士



# Bulletin of the National Museum of Japanese History

---

## Collaborative Research : General Study on Technology and Craftsmen in Medieval Times

Edited by MURAKI Jiro

---

Overview and Progress of the Collaborative Research  
MURAKI Jiro

Introduction and Transformation of Advanced Technology :  
A Case Study of Unglazed Kyoto-style Earthenware Produced in Eastern Japan at the Beginning of the Medieval Period  
IKEYA Hatsue

Transition of Lacquering Techniques and Social Dynamics in Medieval Japan  
YOTSUYANAGI Kasho

Production Activities in Shichijō-machi and Hachijōin-chō in Medieval Kyoto : Focusing on Copperwork  
MURAKI Jiro

A Study of Medieval Japan Seen in the Context of the Development of Hand Mills  
SASAKI Kensaku

Issues Related to the Introduction of Foreign Technology in Lock Manufacturing  
and Brass Production during the Transition from the Medieval to the Early Modern Period  
TSUBONE Shinya

A Major Elemental Analysis of Gold-dotted Biscuit Ware from the Tsukui Castle Site  
and Gold-leafed Biscuit Ware, etc. from the Odawara Castle Site  
SAITO Tsutomu

A Study of Quarrying Site for the Stone Walls of Ōsaka Castle from the Perspective of a Practicing Stonemason :  
An Ethnographic Approach to Unravel Early Modern Granite Quarrying Techniques  
MATSUDA Mutsuhiko

Kyōson, the Author of *Myōgoki*, and His Personal Relations :  
Interaction between Court Nobles and Samurai and the Transport and Logistics  
in Western Provinces in the Mid-Kamakura Period  
FUKUSHIMA Kaneharu

A Review of the Theory of Production Revolution in the Fifteenth Century  
NAKAJIMA Keiichi

Background Factors for the Introduction of Foreign Technology in Medieval Japan : Impact of Marine Transport  
SEKI Shuichi

### Research Notes

Manufacturing in Japan in the Age of Discovery : Technology, Materials, and Trade  
KAWAGUCHI Yohei

About the Change of the Coins Casting Government Office Judging from Government Organization  
NITO Atsushi